

地域自治区からの意見

令和6年度第3回恵那市地域自治区会長会議 議事録（抜粋）

日時：令和6年6月14日（金）

午後3時30分～午後4時50分

場所：恵那市役所会議棟大会議室

発言者	発言内容
交通政策課	<p>1. SL復元を通じた地域づくりに向けた取組み状況の報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リニアの開業を最大限に活用して市の活性化へと結びつける ・取組み状況及び今後の予定 ・SL復元・運用の費用と経済波及効果 <p>【調査報告書の概要版】で説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イニシャルコスト 10億 7,500万円 ・ランニングコスト 1億 4,600万円 ・経済波及効果 11億5,600万円/年 ・この経済波及効果を出すために、地域の活性化には具体的に、どんな取り組みができるか皆様方にご協力をいただきながら検討を進めていきたい。
会長	今の説明で質問があればお答えしてもらいます。
三郷会長	宣伝効果はSNS非常に有効。いかに皆さんに波及させてPRすることで、ふるさと納税で事前にチケットが買えるなど今までにない発想でPRしないと、全国から来ていただけない。その辺りはどうか。
交通政策課	資金確保を含め、ふるさと納税などでSLの乗車チケットを購入できることも視野に入れて検討している。リニアを最大限に活用して関東地方以外に海外の人も恵那に呼び込めるようSNS等も活用したいと考えている。
武並会長	教えていただきたいのはランニングコストが1億 4,600万円。乗車など収入はどの程度の試算か。
交通政策課	ランニングコストの1億 4,600万円のうち、4,600万円を賃収入と考えている。
武並会長	そうすると、毎年1億円ずつ赤字が増えていく試算となるが、大丈夫か。
交通政策課	その辺りは大きな金額になるが、うまく運用できれば先程の経済波及効果 11億 5,600万円となるので、これをいかに地域の方と一緒にできないかを検討していき、最終の判断に繋がりたいと考えている。

発言者	発言内容
会長	収入の方をいかに多く見られるかによって負担も減る。色々な地域から呼び込めれば良い。大井川鉄道視察での説明では、観光客の運賃収入で賄われていた。リニアを絡めて大井川鉄道と比較しても地の利には恵まれているので、波及効果による経済効果はもう少し増えるのではないかと、委員会に出席して感じて感想。
山岡会長	初期投資費用が10億円超、1年目から11億円の経済波及効果とあるがなっているが、まゆつば物ではないか。明知鉄道を活性化していくのが主旨か、それとも経済波及効果を出していくのが主眼ですか。観光客が主なのか地元住民が主なのか疑問です。
交通政策課	目的は明知鉄道の経営的な活性化ではなく、地域の活性化、まちづくりに繋げていきたいのが第一の目的です。SLを活用して、地域が活性化できるのかが最大の目的となっています。明知鉄道は通勤、通学、高齢者の移動手段として日常生活欠かせない路線となっている。SL運行した場合、日常生活の移動に支障がある場合は、代替のバスなどで対応することも考えている。
山岡会長	代行バスとなれば、明知鉄道の存在意義が半分否定される。全便バスだとコストはかからない。赤字がある中、更に1億円の赤字が増えると明鉄を残すことができない。
交通政策課	明知鉄道は毎年2,000万円近くの赤字を中津川市と協力して支援している。明知鉄道も非常に経営が厳しい中、存続のため多角経営を行っている。鉄道は大量輸送が一つの特徴。バスとなれば一度に大量の輸送は難しいとなると、鉄道は維持していかなければならないと考えている。
会長	補足すると、明知鉄道は別のものと受け止められているけど、一緒に捉えていくものであり、明知鉄道の通常営業にも良い効果がでるといふ説明が必要だ。山岡の会長の質問に対して、明知鉄道は別ものと誤解が生じないように、全体で進めていくという説明で良いか。
交通政策課	良いです。
大井会長	波及効果11億5,600万円は、試算では宿泊や物を買ってもらうのが大半だ。ランニングコストが1億4,600万円で4,600万円は運賃で賄うが、毎年1億円の補填がいる。この事業を単独のものとしたら、10億円の収入を得ることはできない、その部分はどのように考えているか。
交通政策課	具体的な方策はまだまとまっていないが、明知鉄道の商品開発やパッケージのメニューなどを考えていけば1億4,600万円の中に収益にもつながると考える。雇用や移住定住などの効果にも繋がると考えている。いかに効果が出せるか検討を進めている。

発言者	発言内容
東野会長	運賃は恵那から明智までの乗車券は、SL の場合はいくらくらいになるのかとか、観光列車のような形でSLに乗れるのか。時間的にはどれくらいかかるのか。
交通政策課	SL は土曜日と日曜日の運行で、2往復を考えている。1年間試運転をして、どこで水や石炭を補填するかなどの調整を経て所要時間を設定する。明知鉄道の運賃は片道 690 円。SL を走らせた場合、これに特別料金 1,000 円を加えて年間 4,600 万円の収入として考えている。
会長	現在、委員会では復元に向けての可能かどうかの調査。今日の意見は委員会に参考として入れておいていただきたい。委員会だけの検討ではなく、各地域の会長の意見としてどうするかという参考の意見になる。